

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101920
法人名	医療法人 聖心会
事業所名	認知症対応型共同生活介護 まごころ照国
所在地	鹿児島県鹿児島市照国町7番17号 (電話) 099-813-7260
自己評価作成日	令和3年12月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年12月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の状態であっても、家庭的な雰囲気の中で共同生活を通して、個々の思想やライフスタイルを尊重しながら自立支援に向けた介護を心がけています。また、母体医療機関とも連携しており、医療に対しても安心して過ごしていただいています。場所は照国神社境内の近くにあり周囲は城山を背景に、住宅街に囲まれ賑やかな場所になっております。天気の良い日には屋上から鹿児島市街地や桜島を眺望でき、地域に根差した明るく開放的な施設です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体病院や協力医療機関の訪問診療、訪問看護による毎週の健康チェックなど、連携の取れた健康管理が図られ、利用者は安心して日々の生活を送っている。
- ・町内会に加入し、地域行事は自粛しているが、近隣小学生のカードプレゼントや散歩中の挨拶、ホームの地域交流室の開放など地域と継続して良好な連携が保たれている。
- ・食事は栄養面を考慮、手作り行事食が数多く取り入れられている。利用者の食事への意向や希望を取り入れ、利用者の咀嚼力や嚥下などにも気配りし、地産の食材を利用し、また利用者の残存機能を活かし、食事準備、片付け、掃除など、個々の利用者に達成感や既存の家庭生活継続の楽しみを与えるような支援をしている。
- ・四季広報誌を発行、家庭的な環境の下で共に寄り添い、心地よい穏やかで安心した生活を送れるよう管理者と職員は研修や勉強会で日々ケアの質の向上を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人の理念を基に実践している。全体会議の場では施設全体の介護理念を提唱し、職員事務所には事業所理念を掲示している。</p>	<p>理念は事務所に掲示し、一人ひとりの自主性を尊重した毎日が送れるような生活環境を提供している。毎月の職員会議において最初に唱和し会議を進めている。日々振り返りや見直しを検討し、共有を図りケアの実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>現在新型コロナウイルスの影響にて地域の幼稚園・小学校との交流は自粛している。以前は季節の行事等で交流を図っていたが、今後感染状況を踏まえて地域方と検討していく。</p>	<p>町内会に加入している。地域との交流を自粛している中、クリスマス会の時、例年、近所の小学生が来訪していたが、今回はメッセージが届きプレゼントと一緒に利用者に渡して喜ばれた。近隣の散歩や利用者と同覧板を届ける等、地域と継続的な交流に努めている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>現在新型コロナウイルスの影響にて地域の方への交流が難しい状況である。今後感染状況を踏まえて地域の方と交流する機会を検討していく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在新型コロナウイルスの感染対策から運営推進会議は開催は中止しているが、民生委員や自治会長、知見者へ事業所内部や施設・事業所内行事の様子などを郵送にて資料配布させて頂いている。</p>	<p>運営推進会議は事業所活動状況や入居者の状態・サービス内容を報告書にまとめ、要望・意見・助言をもらえる様に各委員へ郵送し、電話で意見をもらったりしている。コロナ禍が収まり会議再開には情報を共有しサービスに活かせる様に計画している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染対策から運営推進会議を中止しているが、地域包括支援センター職員へ資料配布し現状を報告できている。また、必要時には担当者へ電話連絡をおこない相談・助言をもらうように努めている。</p>	<p>市担当者を訪ね報告やケアの様子・困難事例などを相談している。必要時には電話でも相談・助言をもらう等、協力関係を築いている。研修の案内や資料を電話、FAX、メールで連絡受けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>委員会を中心に身体拘束をしないケアの取り組みを実施している。委員会による身体拘束についての研修をおこない知識や理解を深めると共に、言葉の使い方にも注意して取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を基に月に1回勉強会を開催している。日々の暮らしの中で言葉遣いも含め、拘束しないケアの正しい理解と実践について全職員で取り組んでいる。日中の玄関の鍵はしていない。エレベーターもいつでも使えるようにしている。見守りを密にして、職員が一緒に行動を共にするなど利用者の自由な暮らしを支えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	委員会を中心に高齢者虐待防止法の研修を実施して、虐待防止への理解を深めている。職員へも面談を通して悩みやストレスが軽減できるように取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護や成年後見制度について内部の研修を行い、職員への理解、周知に取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用開始前にご自宅に訪問し、利用契約書や重要事項説明書の十分な説明を行っている。利用開始前にあたり不安や疑問などお聞きしご理解を頂くと共にご本人様にも利用前にはお越し頂き説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様からは日頃のケアや会話の中から意見や要望を聞いており、ご家族には面会時や電話連絡の際に意見を聞くように行っている。面会制限時でもこまめな連絡を取り、意見を聴く機会が設けられている。	利用者からは毎日の暮らしの中で意見や意向を聞き、記録に残している。利用者間の会話の中から言葉を拾い、勉強会や会議で話し合い、運営に活かせるよう努めている。家族には面会時に積極的に声かけを行い、気軽に意見や要望を出してもらえよう心がけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議以外にも、業務中から出た意見は申し送りノート等にて情報を共有しケアに反映している。意見を言いやすい雰囲気作りにも努めている。	職員間のコミュニケーションが良く日頃から意見が言いやすい雰囲気がある。利用者の気づきノートを作成し、発言などを記録に残している。気づいたことを機会を見て反映させるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	法人の上層部、管理者同士での会議の場にて、就業環境の整備および各自の就業状況の把握、情報共有を行い、検討して働きやすい職場環境、条件の整備等に取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規採用時のオリエンテーション、新人職員への業務レポートや指導職員への聞き取り等を行い、また内部研修でも職員それぞれによる研修を実施して個々のスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナウイルスの感染予防の為、電話連絡のみ行い情報共有を図ってる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に本人様、家族や関りのある方達から情報収集を行い、本人様にあった入居の方法を考えている。ご家族とも連携を取り安心して過ごして頂けるよう信頼関係の構築に努めており、また本人様の要望を必ずお聞きしプランに反映している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には訪問し、家族の困りごとをお聞きしている。入居後も家族とこまめに連絡を取り、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族の状況を把握し事前に来て頂くなどの必要な支援を行っている。他のサービス事業所とも連携を図り入居が決まった時など行き来をして、情報をもらうようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させて頂くという姿勢を大切にし、時には職員が利用者に頼ったり甘えたり、何かする時は相談するなどしている。喜怒哀楽が出せるようお互いが家族のような関係作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日頃からこまめに連絡をとったり、面会時などには少しお話をさせていただいたりコミュニケーションが多くなるよう働きかけている。近況の報告や良いエピソードなどを伝えたり、今後のケアの方向性を相談したりと、本人様の今後の生活を共に考えていけるように関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルスの感染対策の為、地域交流室にて家族や親族、友人との面会を行っている。</p>	<p>散歩中や回覧板で地域住民とあいさつを交わしている。地域交流室で面会の支援をしている。電話やガラス越しの面会で対応し再度の訪問をしやすいように努めている。理美容はホームに来院している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士の交流が持てる様に橋渡しを行っている。気の合う人同士で同じ作業をして頂いたり、一緒に散歩に行ったりと利用者様同士で関りが多く持てるように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>病院への入院後も家族と連絡を取り、本人様・ご家族の様子を確認している。退所されたあとも相談、連絡が気軽にできるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で、本人様との会話の中や、難しい際にはご家族から直接聞いてみて希望や意向の把握に努めている。またケアの中でも表情や仕草、反応を情報共有して希望や意向に沿うケアができるように努めている。	日常の暮らしの中で意向を聞いたり、利用者間の会話や何気ない仕草・つぶやき等を職員の気付きノートに記入し共有している。家族の面会時や電話での連絡を積極的に支援し早期の対応ができるように努めている。コミュニケーションが難しい場合は、筆談したり表情やしぐさで判断し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に本人様、ご家族から生活歴を確認しアセスメントシートに記載している。これまでの暮らしは生活していくうえで重要であり、また新たに得た情報は随時追加し共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の様子をパソコン、業務日誌、申し送りノートに記入して職員は出勤時に確認、申し送りを受けて状態把握に努めている。バイタル測定も毎日実施し体調管理にも努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様やご家族、他職種の意見を踏まえて介護計画を作成している。6ヵ月毎にモニタリングを行い、必要時にはカンファレンスを開き現状に即したセインができるように取り組んでいる。	本人・家族には、日頃のかかわりの中で思いや要望を聞き、医師や看護師と相談しながら介護計画を作成している。モニタリングを6ヶ月毎にしている。状態の変化があった場合はその都度見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランの実施記録と共に日々の様子や変化など必ずケース記録に記録し、申し送りノートなどで共有している。本人様の言葉や想いも記載しその後のプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族とも協力して、食べたい物や欲しい衣類などその時々生まれるニーズに対応できるように努めている。また新型コロナウイルス感染状況に応じて、外出、外泊も検討している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスの感染対策の為、人混みの多い場所への外出は避けているが以前から使用している病院であったり、ご家族とも協力して支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体であるかごしま高岡病院による訪問診療が週2回行われている。以前から通われている歯科などの専門医療機関とも協力して適切な医療が受けられるように努めている。	契約時にかかりつけ医について意向を聞いて支援している。母体医療機関を始め複数医療機関の受診や訪問診療が月2回実施されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設事業所に看護小規模多機能型居宅介護があり、健康相談や体調不良時においていつでも相談、報告ができています。また週に1回は併設看護師が利用者様の健康チェックを行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には情報提供を行い、本人様・ご家族が安心して治療できるように主治医や担当看護師とも話し合いを行っている。できるだけ早期に退院できるように努め、ご家族と一緒に対応や注意事項などの説明を聞き取り関係作りを行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化・終末期に向けた看取りの指針をご家族に説明し同意を得ている。状況に応じてご家族、看護師、主治医を含めて話し合いを行っており納得のいく終末期が過ごせるように努めている。	入所時に重度化に伴う看取りの方針を説明し同意を得ている。重度化や終末期には状態の変化がある毎に、本人や家族の意向を踏まえ、主治医・看護師と連携し、安心して最後が迎えられよう看取りの体制ができている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応を内部研修として取りれており、また緊急時の連絡体制も整備されている。毎年の研修による緊急時の実践力を身に付けていくよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に3回の災害訓練を実施しており、消防署の立ち合いによる訓練も年1回行っている。様々な災害や想定をもとに取り組んでおり、コロナ過が落ち着いてくれば地域住民の方にも参加して頂き、協力して実施していくように努めていく。</p>	<p>災害訓練は年3回、防火管理者を中心に夜間を想定した避難誘導訓練を実施している。駐車場の避難場所への安全な移動等、行っている。年1回は消防署の指導訓練を受けている。水・ラーメン・レトルト食品・缶詰など、一週間分の備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりが歩まれて来た人生を尊重し、プライバシーに配慮しながら声掛けや接し方を行っている。また、職員同士が良い意味でお互いを注意しあえる環境作りにも努めている。	ケア会議や委員会での研修、勉強会を開催し、言葉遣いや声掛けも含め、個人の尊重やプライバシーの保護について実施している。誇りやプライバシーに配慮して利用者の希望を入れ個室に家族入室許可を実施したり、さりげないケアを心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	衣類や飲み物など些細な事柄でも選択肢を設けて本人が自己決定しやすいように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や休憩したい時間などそれぞれが思う時間で行えるよう工夫、対応したりと状況に応じて臨機応変に行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着たい洋服を選んで頂いたり、好きな髪型、ネイルをしてみたりと、本人がしたい身だしなみができる様に働きかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	委託している業者から提供される食事を利用者と一緒に準備している。それぞれにあった食事形態に変更したり、時には食べたい物をアンケートし、家族に協力して頂き召し上がっていたでている。	委託業者と給食会議を月1回話し合いをしてアンケートの集計をしたり意見を聞いたりして美味しい調理を目指している。献立は旬の食材や彩りなどを配慮した栄養士助言のものである。職員はご飯、みそ汁をつくり、利用者と共に配膳や後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事摂取量、水分摂取量を記録に残し把握に努めている。また食べやすい皿に変更したり、自助具等を活用しその人に合った食事環境になる様努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、自らされる方にも仕上げ磨きをを行い、口腔内の状況確認をして清潔に保てるよう努めている。 義歯は夕食後洗浄液等にて洗浄、消毒を行っている。また必要に応じて家族の協力によりしか受診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時は毎回時間等記録し、一人一人の排泄リズムが把握できるよう努めている。自立した人への声掛けや必ず便座に座っての排泄になるように支援を行っている。また、おむつ使用時でも訴えがある際はトイレにて排泄して頂ける様努めている。	排泄パターンを把握し、動作や表情など、小さな情報も職員全員で共有しトイレでの排泄を支援している。パットやリハビリパンツを使いながら定期的なトイレ誘導で排泄の自立に向けた支援をしている。おむつからリハビリパンツへの移行ができた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師や医師と相談しながら便秘への改善に努めている。飲食物の工夫、時には腹部マッサージや看護師と連携して排便が出る様に対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本午前中であるが、本人の要望やその時の体調、状態に応じて、日程や時間を変更するなど臨機応変に対応している。また、環境や本人の羞恥心にも配慮した支援を行っている。	基本的に入浴回数は週3回、午前中であるが、曜日・時間・湯温など、利用者の希望を確認し、気持ち良い入浴を支援している。必要時はシャワーや足浴の対応もしている。入浴を拒む利用者には日時・順番・職員の交替・声掛けを工夫し、入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はそれぞれ違う為、その人に合わせた就寝時間にて休んで頂いている。日中も本人の意向によって休息されている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者毎に内服を管理し、効能や用途、副作用等の把握に努めている。薬も一つ一つチェックを行い、服薬時ものみ忘れ、飲み残しが無い様に最後まで確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>今までされてきた事を出来るだけ継続していけるように役割を持って頂いたり歌や色紙、家事など得意なことも継続してできる様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>今年度も新型コロナウイルスの影響で外出する機会は減っている。今年度もドライブや施設周辺、近隣の散歩を行いながらリスクの少ない外出支援を行っている。</p>	<p>散歩を兼ねて近隣の花を觀賞したり、神社境内や公園に出かけている。初詣・ドライブなど年間計画にそって行楽地に出かけていたが今季はコロナ禍のため、少人数で近くにドライブに出かけている。医療機関受診の時もドライブをかねて周りの景色を楽しんでいる。家族との墓参りや外泊・外食などもコロナ禍が収まれば支援計画がある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>当事業所では「預り金」はしておらず、必要時には家族へ説明して頂いている。必要時には職員と買い物される方もおられる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>職員が代行して電話をかけお話をされたり、家族や知人からの電話の取次も自由に出来る。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて花や飾り物（利用者、職員制作品含む）を用意して季節感を味わってもらえるように努めている。トイレや各居室に分かりやすいよう表示している。今からの季節は気温、湿度に注意している。	共用のフロアには季節の花や壁画作品が飾ってある。テーブル・ソファではリクリエーションやぬりえなどゆっくりできる空間があり、利用者はそれぞれの場所できつろいでいる。換気をこまめに行い、清掃が行き届き観葉植物の大きなものが置かれて、利用者が快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	天気の良い日は外や屋上にて日光浴をされたりソファでゆっくり過ごされている。座席も仲の良い人同士と一緒に活動できる様に臨機応変に工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具をそのまま使ってもらったり、馴染みの物や思い出の品を飾ってもらったりと今までの暮らしが継続できる居室環境になるように工夫している。	写真や本・作品・ぬいぐるみ・ハンガー・衣類など、利用者と家族で話し合い、本人の好みの物や使い慣れたものが持ち込まれ、個性ある居室である。季節の変わり目に衣替えは本人と職員とで整理している。本人が居心地良く過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各個人の力量に応じ使いやすく、安全に生活できるように家具の配置など配慮している。歯磨きセット等自分の持ち物など手の届く位置に置き少しでも自立した生活が出来る様に工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない